

全員そろって記念撮影。この写真は大分合同新聞の  
紙面を飾った(撮影 大分合同新聞社)



関東同窓会創立30周年を盛大に祝う

## 総会・懇親会を挙行!!

(文・和田典久 (昭60年卒))  
早くも梅雨明けを思わせるか  
のような初夏の日差しが眩しい

平成28年7月2日(土)、第30回竹  
田高等学校関東同窓会総会がホ  
テルグランドビル市ヶ谷にて盛  
大に開催されました。

今年は第30回の節目の同窓会  
であり、また間近に迫つたりオ  
五輪のお祭りムードの相乗効果  
もあってか、総勢264名とい  
う多数の同窓生にご参加いただ  
きました。

総会はこの1年にお亡くなり  
になつた物故者への黙祷、司会  
の井手幹事長による開会宣言に  
よりスタートしました。

「昭和25年に竹田会が発足、  
昭和63年に関東同窓会として独  
立、諸先輩方のご指導のもと、  
今年で30周年を迎えることがで  
きました。

まずは松良関東同窓会会长よ  
りあいさつがございました。  
また今回は30周年の記念の会  
として、多くの方に参加いただ  
きました。



大分県立竹田高等学校  
関東同窓会報

第52号

発行者・会長 松良修二  
編集者・委員長 衛藤淳  
発行所・関東同窓会事務局  
〒194-0013  
東京都町田市原町田4-17-20  
電話 042-725-5018

<http://www.geocities.jp/kantohaketa/>



関東同窓会・松良会長



竹田高校・後藤校長



竹田市・首藤市長

そして多数ご出席いただいた  
ご来賓の中から、後藤輝美校  
長、首藤勝次竹田市長、後藤眞  
二同窓会会长よりあいさつを  
いただきました。

後藤校長からは「本会への現  
役大学生のご招待、また修学旅  
行での企業訪問や『大志文庫』  
の開設等、関東同窓会の日頃か  
らのご支援ありがとうございます。  
1点目は進学や部活動の状況で  
ますが、難関大学への複数合格や  
山岳部の27回連続インターハイ  
出場等、竹田高校は黄金期を迎  
えているということです。2点  
目は、地域の高校は生き残りを  
かけた状況にあり、竹田高校は  
生き残りの中で一番厳しい状況  
にあります。地域と連携し小中  
学校や地域の皆様、行政にもお  
力をいただき、「竹田高校は永  
遠に不滅です」と次年度に宣言  
できますようご支援(エール)  
をいただけますようお願いいた  
しております。」と、あいさつがござ  
いました。

首藤市長からは「4月の熊本  
大分大震災での竹田の被害はそ  
う大きくはなかつたものの、風  
評被害によるキャンセルがあり  
ました。ただし7月に災害復興を  
目的とした旅行クーポンが発行  
されます。観光客回復に向け  
た政府の対策であり、熊本大分  
では7割補助となります。この

行での企業訪問や『大志文庫』  
の開設等、関東同窓会の日頃か  
らのご支援ありがとうございます。  
1点目は進学や部活動の状況で  
ますが、難関大学への複数合格や  
山岳部の27回連続インターハイ  
出場等、竹田高校は黄金期を迎  
えているということです。2点  
目は、地域の高校は生き残りを  
かけた状況にあり、竹田高校は  
生き残りの中で一番厳しい状況  
にあります。地域と連携し小中  
学校や地域の皆様、行政にもお  
力をいただき、「竹田高校は永  
遠に不滅です」と次年度に宣言  
できますようご支援(エール)  
をいただけますようお願いいた  
しております。」と、あいさつがござ  
いました。

桐朋学園芸術短期大学の卒業生が結成した「パフォーマンス集団・たまご」と「シュピール×シュピール音楽劇ファクトリー」によって制作された音楽劇『瀧廉太郎物語』



クーポンによる経済効果がきつと竹田を元気づけてくれると信じております。」と復興に向けた力強いお言葉をいただきました。

後藤同窓会会长からは「竹田高校は2017年に創立120周年を迎えます。1897年開校以来、明治・大正・昭和・平成と豊肥地区の最高学府として26,000人余りの卒業生を輩出してまいりました。同窓会



竹田高校同窓会・後藤会長

としてもこれだけ素晴らしい高貴ある歴史と伝統を持つ竹田高校を更なる新しい竹田高校の歴史・伝統づくりに120周年事業を大いに力としていきたいと

考えています。」とございました。

…

今回の同窓会の記念イベントである音楽劇「瀧廉太郎物語」。前年9月から始めた当番幹事ミーティングでも記念イベントの演目選定は一番の悩みの種でした。

30周年の記念になるもの、竹田に関係あるもの、母校の生徒にも還元できるもの等、いろいろな観点から様々なイベント提案がございました。

何度目かのミーティングの際、執行部員より以前竹田会で上演された音楽劇に非常に感動したとの、本当にちょっとした世間話がありました。ところが音楽劇の制作に関わる桐朋学園芸術短期大学に当番幹事のメンバーが奇遇にも勤務しており、出演交渉等もスマーズに進み、あれよあれよという間に音楽劇「瀧廉太郎物語」が今回の記念イベントに決定しました。

決定してからは記念イベントということで懇親会での上演可能時間の40分版に新たにリメイクしていただきました。今回の同窓会で実際に上演された音楽劇「瀧廉太郎物語」、あえて詳細な上演内容は記載しませんが、あ

ので乾杯のビールは格別に美味しく、またお腹も空っぽのようで料理の皿の前には長い行列ができました。

多くのテーブルで久しぶりの再会を歓び声等で、一気に会場はヒートアップ。今年も物産コーナーの「荒城の月&三笠野」は早々に完売し、残りのお土産の販売も順調な様子。



監修の松井康司教授と演出の柴田千絵里さん

の時代に生きた20代前半の青年の道半ばで倒れても消えない情熱と彼を支える素敵な人達を見事に演じており、また抜群の歌唱力とピアノの演奏による瀧廉太郎作曲の音楽が当時の情景を彷彿させるようでした。

上演終盤では会場のあちこちより嗚咽も聞こえ、最後に「花（組歌四季）」を歌い終え全員が壇上に整列した際は、拍手喝采にて幕は閉じました。

上演後、音楽劇「瀧廉太郎物語」監修の松井康司教授（声楽家）よりございました。お城の月」のワンフレーズをご披露いただきました。

続いて長吉泉関東同窓会相談役のごあいさつと乾杯のあいさつにより懇親会がスタートしました。

私も高校卒業と同時に東京に来て30年、初めて関東同窓会に参加し、同窓の皆様にお会いでいたことをとてもうれしく思いました。

また来年は普通の出席者として楽しい同窓会に参加できることを楽しみにしております。

## 感動の記念イベント

# 音楽劇『瀧廉太郎物語』



# 30周年懇親会アルバム

写真撮影: 後藤 洋一(昭60年卒)、眞部 洋一(昭60年卒)、渕 雅美(昭50年卒)



▲乾杯のご発声は初代会長の長吉泉  
相談役



▲司会は当番幹事を代表して牧野浩志  
さんと白坂亜紀さん(共に昭60年卒)



▲今年はうれしいことに在京の  
現役大学生が4名参加してくれた  
だより、壇上であいさつしてく  
くれた

監修 ▶ 松井康司教授(桐朋学園芸術短期大学)  
作・演出 ▶ 柴田千絵里  
演出 ▶ 一平杏子 川越美樹 柴田友樹 中井沙織 長尾俊彦  
平井千尋 福島 梓 坂本明佳(歌) 藤原伊央里(ピアノ)  
協力 ▶ 桐朋学園芸術短期大学、シュピール×シュピール音楽劇ファクトリー  
パフォーマンス集団・たまご [HP] <http://tamago-land.jimdo.com>



▲竹田から特別にドローン撮影した故郷  
の映像が送られてきて上映。在校生に  
よるグラウンドでの「祝30周年」  
文字に会場では「ワーッ!!」と歓  
上がった(ドローン撮影…北條誠  
氏が)



▲現役大学生を含む卒業年次が平成のメン  
バー。関東同窓会の未来を担っている



▲熊本大分地震の支援のために急きょ用意された寄付金箱が代表から首藤市長に託された



▲来年2017年懇親会の当番幹事の昭51年  
卒のみなさんがあいさつ。こうして伝統  
が連綿と受け継がれていく



▲お約束の全員ストームで締めくくり。こ  
の一体感は格別!!





団体（竹高関東同窓会、竹田南高校、城原地区活性化協議会）、教育委員長表彰は個人4名（無形文化財やスポーツ振興への貢献）及び神楽保存会に対し行われ、更に、市長感謝状が文化交流や市街地振興に対し4名の

卷之二

方々に贈呈されました。  
関東同窓会の受賞事由は「あるさとである竹田市の応援や、関東圏への情報発信など、市の文化・観光振興に貢献」というものでした。

これは偏に関東様全員の不斷の活動によるものと思料いたします。これまでに賜りました皆様のご尽力に心よりお礼申し上げます。

竹田高校関東同窓会が  
竹田市より功労表彰!!

平成28年度  
竹田市功労者表彰式  
出席報告

会長 松良 修二（昭34年卒）  
この度、首藤竹田市長及び吉野教育長から竹田高校関東同窓会を平成28年度竹田市及び竹田市教育委員会の功労者として表彰する旨の通知をいただき、11月3日に開催された表彰式に出



# 屋久島登山

羽田野 耕一  
(昭46年卒)



(左から) 羽田野耕一さん、久枝恭一さん、広瀬季樹さん

## クラス会・同期会

夫婦杉、縄文杉などに圧倒されました。屋久島は一年の半分が雨ですが当日は奇跡的な晴天に恵まれ登山道も賑やかでした。

還暦を過  
りましたので、来年は  
別企画にしたいと考え  
ています。



## 昭41年卒が「卒業 50周年記念同級会」 を盛大に開催

白井 幸光  
(昭41年卒・竹田)

11月4日～5日に久住高原荘において私たち昭和41年卒生が卒業50周年を記念して同級会を



伊藤誠至実行委員長があいさつ



## ◀後藤眞二同窓会長から母校の近況報告



「久住高原たくみ太鼓会」の演奏。同会は平成10年に結成され、久住に伝わる伝統太鼓を復活させた。



司会を務めた白井幸光さんと磯部治子さん。よ～くご覧ください。コスプレではありません。二人そろって母校の制服姿です

## 同窓会 関西

# 再出発の集い開催

竹田高校関西同窓会が平成28年9月10日、30数年ぶりに大阪第一ホテル6階のモナードにて開催されました。

竹田高校同窓会後藤眞二会長が年代を超えて親交を深める場であり会の継続を!と誓いました。



本田健三会長(昭41年卒)

はじめに全員で竹田高校校歌斉唱、続いて関西同窓会首藤英利副会長の開会宣言の後、本田健三会長からあいさつがありました。本田会長は会の開催を祝うとともに、「この会の活動は母校に対する思いと、会員同士

は全国同窓会活動と竹田高校創立120周年行事について、竹田高校後藤輝美校長は生徒数の減少に歯止めがかかるず、今年竹田市の新生児が100名しかいないことと、母校の近況を報告されました。

高校生徒によるベトナム研修旅行の発表と、書道部によるパフォーマンスが行われ、竹田高校関西同窓会の規約を審議後、廣瀬明さん(昭27年卒)の乾杯で懇親会が開宴となりました。

10月1日、竹田高校関西同窓会の今回の反省会を開き、次期開催を2017年9月23日とし全員で協力を誓いました。

竹田高校関西同窓会再出発開催に当たり、同窓会本部、関東・東海同窓会の方々のご指導に深く感謝申しあげます。



書道部員によるパフォーマンス

## 熊本大分地震の被害について

川口亮生(昭40年卒・竹田市在住)

この度の地震で被災された方に心からお見舞い申し上げます。

竹田は14日の地震では揺れは

したが物的被害は無かつた。16

日の地震では、市役所内に災害

避難所に大勢が避難(人数確認は出来ていない)、道の駅す

ごう・竹田共満杯に成り自宅周

辺で車中泊する避難生活を送ることとなつた。(28日迄)

又、貯水場の水が濁り竹田・長湯地区では2日間給水に頼る不便な生活を強いられた。

何が怖いと言えば、夜間の強

い揺れで安心して家の中に居られない。寝てられないことの辛

さは経験してみないとわからない。3日間で疲労の局地に達した。強い揺れを懸念し岡城址登

城禁止、歴史資料館・旧竹田荘の拝観中止、久住大船・祖母傾山の山開き祭の中止等、史跡拝観・イベントの中止が相次ぎ、市全体が自肃ムードであった。

一方阿蘇地区の報道基地とし

て市内のホテルに全国紙・NH

Kが宿泊し朝夕タクシーの異常

な出入りが見られた。(GW迄)

GW明けに顕著になつたのが

観光客が激減したことです。南

阿蘇地区の崩落で熊本からの進

入路がとざされ、黒川・湯布院の周遊観光路が成立しなくなつたと危惧しています。風評で基

本数が減少しているので東京に

居る皆さんが身近な処から大分

竹田の旅を呼びかけていただけ

る事を望みます。竹田市民歓待

いたします。



竹田市挟田の「国天然記念物阿蘇火碎流堆積物」の崖が9月に崩落していたことが確認され大きなニュースになった。度重なる地震の影響を指摘する声が多い



崩落前の写真=共に北條誠一氏(昭52年卒・竹田市在住)撮影

# ふるさと名所紀行

## 老舗探訪 その4

### 但馬屋老舗

但馬屋老舗 板井 良助(竹田高校 昭和42年卒)

## 但馬屋の歴史

「暖簾とともに」 創業2000年記念誌より

老舗探訪も佳境に差し掛かつてきました。4回目は但馬屋老舗さんです。

但馬屋の創業は文化元年(西

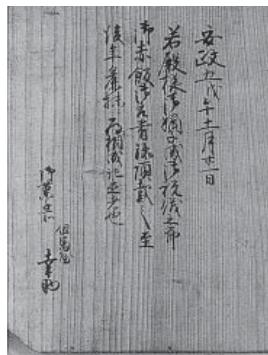
暦1804年)にさかのぼります。

初代但馬屋幸助が京都伏見の駿河屋の和菓子職人として勤めていたところ、縁あって岡藩に召されたことから始まります。岡藩では御用商人の町、上町の商人板井右太郎の養子となり、当時は幸三郎と称していますが、初代但馬屋幸助となり代々襲名することとなりました。

当時は砂糖は大変な貴重品で、長崎の出島にオランダ船が着くと、大半は江戸城の大奥の御用に陸路運ばれ、その他は長崎街道の小倉から海路で大阪の市場で高価取引されました。薩摩藩の専売品であつた国内生産



旧店舗の写真(昭和39年の改装~平成21年8月以前の本店と創業時の暖簾)



安政五年、城主中川久昭公から賜った際のお膳の覚え書き

朝来郡(現朝来市)の瀧野佐兵衛(屋号は米屋、米穀商で大店であったことが長榮寺様に寄進された鐘から想像できます)の六男として出生。当時彼の地から由緒ある京都伏見の駿河屋(秀吉の伏見での茶会に登用され、日本の練羊羹を創製した名店)に奉公することは、よほどご住職は言われます。ある日駿河屋の当主が有馬温泉に投宿した際に、岡藩の士族福永某氏と出会い和菓子職人を岡藩城下に誘致したいと申し出があったといわれています。

当時は砂糖は大変な貴重品

で、長崎の出島にオランダ船が

着くと、大半は江戸城の大奥の

御用に陸路運ばれ、その他は長

崎街道の小倉から海路で大阪の

市場で高価取引されました。薩

摩藩の専売品であつた国内生産

す。以来明治維新、廢藩置県、

西南の役、太平洋戦争と続く激

動の時代を潜り抜け、苦渋の中

断はあつたものの菓子業一筋に

専念してこられたのは奇跡のよ

うに思えます。その時代、時代

に支えていたいたい方たち、苦

難に耐え転業せずに家業を伝え

た先祖に感謝しています。

初代幸助は但馬の国、但馬県

朝来郡(現朝来市)の瀧野佐兵

衛(屋号は米屋、米穀商で大店

であったことが長榮寺様に寄進

された鐘から想像できます)の

六男として出生。当時彼の地か

ら由緒ある京都伏見の駿河屋

(秀吉の伏見での茶会に登用さ

れ、日本の練羊羹を創製した名

店)に奉公することは、よほど

ご住職は言われます。ある日駿

河屋の当主が有馬温泉に投宿し

た際に、岡藩の士族福永某氏と

出会い和菓子職人を岡藩城下に

誘致したいと申し出があつたと

いわれています。

当時は砂糖は大変な貴重品

で、長崎の出島にオランダ船が

着くと、大半は江戸城の大奥の

御用に陸路運ばれ、その他は長

崎街道の小倉から海路で大阪の

市場で高価取引されました。薩

摩藩の専売品であつた国内生産

す。以来明治維新、廢藩置県、

西南の役、太平洋戦争と続く激

動の時代を潜り抜け、苦渋の中

断はあつたものの菓子業一筋に

専念してこられたのは奇跡のよ

うに思えます。その時代、時代

に支えていたいたい方たち、苦

難に耐え転業せずに家業を伝え

た先祖に感謝しています。

初代幸助は但馬の国、但馬県

朝来郡(現朝来市)の瀧野佐兵

衛(屋号は米屋、米穀商で大店

であったことが長榮寺様に寄進

された鐘から想像できます)の

六男として出生。当時彼の地か

ら由緒ある京都伏見の駿河屋

(秀吉の伏見での茶会に登用さ

れ、日本の練羊羹を創製した名

店)に奉公することは、よほど

ご住職は言われます。ある日駿

河屋の当主が有馬温泉に投宿し

た際に、岡藩の士族福永某氏と

出会い和菓子職人を岡藩城下に

誘致したいと申し出があつたと

いわれています。

当時は砂糖は大変な貴重品

で、長崎の出島にオランダ船が

着くと、大半は江戸城の大奥の

御用に陸路運ばれ、その他は長

崎街道の小倉から海路で大阪の

市場で高価取引されました。薩

摩藩の専売品であつた国内生産

す。以来明治維新、廢藩置県、

西南の役、太平洋戦争と続く激

動の時代を潜り抜け、苦渋の中

断はあつたものの菓子業一筋に

専念してこられたのは奇跡のよ

うに思えます。その時代、時代

に支えていたいたい方たち、苦

難に耐え転業せずに家業を伝え

た先祖に感謝しています。

初代幸助は但馬の国、但馬県

朝来郡(現朝来市)の瀧野佐兵

衛(屋号は米屋、米穀商で大店

であったことが長榮寺様に寄進

された鐘から想像できます)の

六男として出生。当時彼の地か

ら由緒ある京都伏見の駿河屋

(秀吉の伏見での茶会に登用さ

れ、日本の練羊羹を創製した名

店)に奉公することは、よほど

ご住職は言われます。ある日駿

河屋の当主が有馬温泉に投宿し

た際に、岡藩の士族福永某氏と

出会い和菓子職人を岡藩城下に

誘致したいと申し出があつたと

いわれています。

当時は砂糖は大変な貴重品

で、長崎の出島にオランダ船が

着くと、大半は江戸城の大奥の

御用に陸路運ばれ、その他は長

崎街道の小倉から海路で大阪の

市場で高価取引されました。薩

摩藩の専売品であつた国内生産

す。以来明治維新、廢藩置県、

西南の役、太平洋戦争と続く激

動の時代を潜り抜け、苦渋の中

断はあつたものの菓子業一筋に

専念してこられたのは奇跡のよ

うに思えます。その時代、時代

に支えていたいたい方たち、苦

難に耐え転業せずに家業を伝え

た先祖に感謝しています。

初代幸助は但馬の国、但馬県

朝来郡(現朝来市)の瀧野佐兵

衛(屋号は米屋、米穀商で大店

であったことが長榮寺様に寄進

された鐘から想像できます)の

六男として出生。当時彼の地か

ら由緒ある京都伏見の駿河屋

(秀吉の伏見での茶会に登用さ

れ、日本の練羊羹を創製した名

店)に奉公することは、よほど

ご住職は言われます。ある日駿

河屋の当主が有馬温泉に投宿し

た際に、岡藩の士族福永某氏と

出会い和菓子職人を岡藩城下に

誘致したいと申し出があつたと

いわれています。

当時は砂糖は大変な貴重品

で、長崎の出島にオランダ船が

着くと、大半は江戸城の大奥の

御用に陸路運ばれ、その他は長

崎街道の小倉から海路で大阪の

市場で高価取引されました。薩

摩藩の専売品であつた国内生産

す。以来明治維新、廢藩置県、

西南の役、太平洋戦争と続く激

動の時代を潜り抜け、苦渋の中

断はあつたものの菓子業一筋に

専念してこられたのは奇跡のよ

うに思えます。その時代、時代

に支えていたいたい方たち、苦

難に耐え転業せずに家業を伝え

た先祖に感謝しています。

初代幸助は但馬の国、但馬県

朝来郡(現朝来市)の瀧野佐兵

衛(屋号は米屋、米穀商で大店

であったことが長榮寺様に寄進

された鐘から想像できます)の

六男として出生。当時彼の地か

ら由緒ある京都伏見の駿河屋

(秀吉の伏見での茶会に登用さ

れ、日本の練羊羹を創製した名

店)に奉公することは、よほど

ご住職は言われます。ある日駿

河屋の当主が有馬温泉に投宿し

た際に、岡藩の士族福永某氏と

出会い和菓子職人を岡藩城下に

誘致したいと申し出があつたと

いわれています。

当時は砂糖は大変な貴重品

で、長崎の出島にオランダ船が

着くと、大半は江戸城の大奥の

御用に陸路運ばれ、その他は長

崎街道の小倉から海路で大阪の

市場で高価取引されました。薩

摩藩の専売品であつた国内生産

す。以来明治維新、廢藩置県、

西南の役、太平洋戦争と続く激

動の時代を潜り抜け、苦渋の中

断はあつたものの菓子業一筋に

専念してこられたのは奇跡のよ

うに思えます。その時代、時代

に支えていたいたい方たち、苦

難に耐え転業せずに家業を伝え

た先祖に感謝しています。

初代幸助は但馬の国、但馬県

朝来郡(現朝来市)の瀧野佐兵

衛(屋号は米屋、米穀商で大店

であったことが長榮寺様に寄進

された鐘から想像できます)の

六男として出生。当時彼の地か

ら由緒ある京都伏見の駿河屋

(秀吉の伏見での茶会に登用さ

れ、日本の練羊羹を創製した名

店)に奉公することは、よほど

ご住職は言われます。ある日駿

河屋の当主が有馬温泉に投宿し

た際に、岡藩の士族福永某氏と

出会い和菓子職人を岡藩城下に

誘致したいと申し出があつたと

いわれています。

当時は砂糖は大変な貴重品

で、長崎の出島にオランダ船が

着くと、大半は江戸城の大奥の

御用に陸路運ばれ、その他は長

崎街道の小倉から海路で大阪の

市場で高価取引されました。薩

摩藩の専売品であつた国内生産

す。以来明治維新、廢藩置県、

西南の役、太平洋戦争と続く激

動の時代を潜り抜け、苦渋の中

断はあつたものの菓子業一筋に

専念してこられたのは奇跡のよ

うに思えます。その時代、時代

に支えていたいたい方たち、苦

難に耐え転業せずに家業を伝え

た先祖に感謝しています。

初代幸助は但馬の国、但馬県

朝来郡(現朝来市)の瀧野佐兵

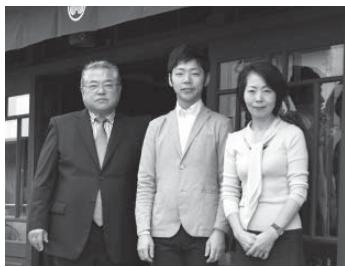
衛(屋号は米屋、米穀商で大店

であったことが長榮寺様に寄進

された鐘から想像できます)の

六男として出生。当時彼の地か

ら由緒ある京都伏見の駿河屋



板井良助社長と京都・東京で修業中の次男靖良さん(平19年卒)、ひとみ夫人(昭49年卒)

年帝國製菓競進会、全国菓子品評会での「鶴の巣籠」「三笠野」「紅羊羹」等の表彰状が多く残ります。

四代目幸助は、小学校で朝倉文夫と同級で上級生に瀧廉太郎や佐久間竹浦がいました。戸畠の明治専門学校への入学を断念し、家業を継ぎます。軍國主義が色濃くなる中で、日露戦争の傷病兵のために栄養価の高い「千歳木」を創製し小倉の陸軍病院に届けます。

父大助は五代目になりますが、私の後継が遅れ襲名せずに54歳で亡くなりました。太平洋戦争

時には休業止む無く、大分の航空敵に通う以外は竹田を離れる

ことなく家業を継ぎました。22

年正月に復活。49歳で病に倒れるまでに、消防団や地域のお世話に奔走していました。離れ

(現茶室)では商工会議所の設立準備等の会合や、趣味の謡曲や邦楽、野球仲間が集まり酒宴を楽しんでもいました。江戸時代から田楽火鉢や「猿猴」と呼

ばれる酒杯を載せて差し出す板

状の道具があり、短歌や俳句を

したため四君子を添えて観賞し

合う、竹田の食文化の粹と思わ

れます。東の間の平和は文化の

苗床のようです。

六代目の私は平和で経済成長

の著しい時代に恵まれ、先代の

死後、母、叔母、姉のおかげで

大学を卒業し菓子専門学校や菓子店で学ぶことができました。

その間関東以西の和菓子屋を観

て廻り、城下町の文化の中に育

まれた和菓子の歴史と役割を認

識することができました。竹田

の茶の湯や能楽に代表される和

の伝統文化の環境に育まれ、感謝の毎日です。

お陰様で、厳しい審査やご推

薦をいただき厚生労働大臣、農

林水産大臣、大分県知事表

彰等

をいただきました。全国和菓子

協会の末席の副会長や県芸術文

化振興財団理事として誠に微力

ですがその方面の発展に協力さ

せていただいています。会社は

次男が虎屋様にて修業させてい

ただいています。「守破離」。次

姉、妻と嫁いだ娘二人が就き、

次男が虎屋様にて修業させてい

ただいています。な

お

たいと思つて

います。

な

お

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

○予告 来2017年の総会

# 古澤剛熱唱ライブ IN 31回関東同窓会 が決定!

(2017年当番幹事 飯田 良典・昭51年卒)

今年の創立30周年記念総会の音楽劇も感動的でしたが、早くも来年2017年の総会・懇親会のアトラクションが決定しまして話題になっています。

我らが同窓生から今年、シンガーソングライターとして見事にメジャーデビューを果たした古澤剛さん(平14年卒)が、来年の関東同窓会で凱旋ライブを行います。

古澤さんは、現在33歳。双城中学から竹田高校に進み、吹奏楽部に入部、ギターでオリジナルソングを作曲、高校3年生の時に「高校生ロック選手



記念すべき  
メジャーデビューアルバム  
「Color」

権」でグランプリを受賞しました。卒業後、福岡で学校に通いながらライブハウスなどで活動、25歳で上京しました。都内でライブ活動を始め、これまで2枚のアルバムをリリース。今年「仲間だろ」が、ラグビーの五郎丸選手らが出演するテレビのCMソングに起用され、話題になりました。

ついに今年9月28日「COLOR」でメジャーデビュー。大分合同新聞でも取り上げられ「聴く人の耳に、心に、ストレートに届くバラードナンバー」と紹介されました。

現在、(株)ロックオンカンパニー(太田代表)に所属、ライブや「歌ワゴン、日本全国仲間だろ」で全国を回り活動の幅を広げています。

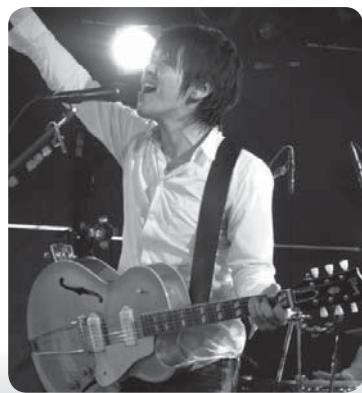
また、復興支援のために各地を訪れ、被災者の方々に歌で元気を届ける活動にも積極的です。その活動ぶりは「若き吟遊詩人」と評しても過言では



ライブ後の楽屋で古澤さん(左から2人目)と、来年の総会・懇親会の当番幹事の左から右田淳子さん、木敬子さん、飯田良典さん(いずれも昭51年卒)、後方は関東同窓会の加藤興史副会長

いません。

去る11月5日、その古澤さんのライブを下北沢で体験してきました。会場は満員、声量ある歌声で我々を魅了してくれました。演奏後の楽屋でのあいさつで、彼も多くの同窓生と会えるのを楽しみにしているとのことです。我々も「同窓生は仲間やろ」と、古澤さんを応援しましょう!!



熱唱する古澤剛さん

懇親会を盛大に、そして無事に終えることができました。支えてくださった役員・学年幹事、そして当番幹事の昭50年・60年卒の皆さんに心より御礼を申し上げます。音楽劇という従来はないアトラクションで圧倒的な感動を巻き起しました。早くも「こんな盛大なことになつて、来年からどうする?」とい

●編集後記  
の30周年記念となる総会・懇親会  
会場▼東京プリンスホテル  
(東京都港区芝公園)

第31回竹田高校関東同窓会  
日時▼2017年(平成29年)  
7月1日(土)  
※開始時間は未定(正午前後の見込み)

物故者御芳名	
菅 圭三 様(昭27年卒)	慎んでお知らせ申し上げ、心からご冥福をお祈り致します。心
工藤 謙知 様(昭27年卒)	お詫びと訂正
吉川 恵啓 様(昭30年卒)	本会報誌「臥牛」第51号(2016年4月発行号)に掲載した計報にご氏名表記において誤りがありました。深くお詫びし訂正させていただき改めて告知いたします。
橋本 正治 様(昭30年卒)	尾下佳代子 様(昭42年卒)
平成27年12月3日没	河野 忠可 様(昭37年卒)
平成27年12月18日没	平成27年12月24日没
●連絡先	※事務局へ連絡をいただいた方々を掲載させていただきました。
TEL 0422-431-7762	工藤 雄司 様(昭34年卒)
TEL 090-9159-7231	平成27年1月29日没
TEL 0181-0003	落合 淑 様(昭37年卒)
(広報委員長) 衛藤 淳 宛	平成27年12月24日没